

【取組内容①】ICTのメリット（即時性・保存性・可視性・簡素化）を生かした授業改善の工夫

研究主題「自分の考えをもち、かかわり合う子の育成」

～コミュニケーション力を高めるためのICT機器の活用を通して～

目指す
子どもの姿

を具現化するための取組、ICT機器の活用

- ・ 児童とともにつくる学習問題
- ・ 学び合いの場面
- ・ 学習問題と正対したまとめ

手立て（ICT活用抜粋）

- ・ 子どもの考えに沿った学習問題◎の設定
- ・ 思考を助ける手法
- ・ 子どもの考えに沿い学び合いを生む教材
- ・ 協働的な思考を助ける機器や道具の活用
- ・ 学びの履歴、振り返り

南小授業スタイルの改善と実施

時間	授業の流れ	教師の働きかけ・手だて
導入	<p>教材と「学習課題」の提示 (学習課題：教師のねらいで提示する課題)</p> <p>「学習問題◎」の焦点化 (学習問題◎：子どもの問題意識を基に表現され、学級で共有された問題)</p> <p>解決の見通しをもたせる</p>	<p>「問い」をもたせ、追究意欲を高める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ズレや分からなさを引き出す 気づき、疑問→モヤモヤ感の共有 ・焦点化を図る。→子どものつぶやきを教師がまとめるなど。 ・既習事項や生活経験等から、解決の方法や道筋を方向付ける。 ・ ICT機器を活用して効果的に課題を提示する。
展開	<p>自力解決・書く活動・追究</p>	<p>自分の考えをもたせる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考えをノートに書いたり、タブレット端末に表したりする。 ・ペアトークでヒントや助言をしあう中で、自分の考えを確かにもてるようにする。 ・ Jam board や Google スライド、学習支援ソフトなどを活用して、友達の見解を共有しやすくする。 ・机間指導等で児童の考えを把握する。
	<p>集団思考 子ども同士がタブレット端末を活用した対話を行うことを通して、学習問題◎を解決する。</p>	<p>話し合いで、考えを深める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・根拠を示した説明を促す。(ICT活用) ・子どもの考えを対比的に提示する。(ICT活用) ・考えの良さや、共通点や違いに気付かせる。 考えにネーミングさせる。 ・考えを全体に広げる「問い直し」 ・ 対話スキルを活用する。 ・子どもの気付きを板書や電子黒板で可視化する。
終末	<p>まとめ 学習問題◎を解決して明らかになったこと。</p>	<p>◎(学習問題)に正対したまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの言葉を生かして、教師がまとめる。
	<p>振り返り 授業を通して成長したことや、成長に必要なことを自覚し、次につなげようとする。</p>	<p>自分の言葉で振り返らせる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何を学んだか、友達のどんな考えがよかったか、自分の考えがどう変わったか、など。 ・キーワードを入れる、評価問題をさせる。

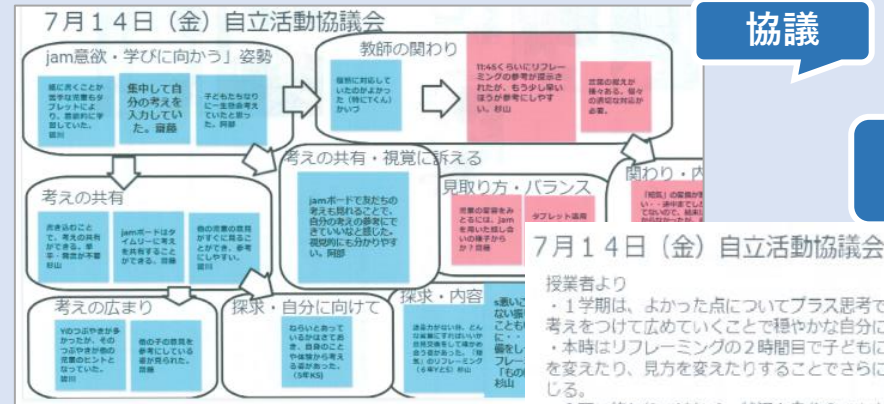
【取組内容①】ICTのメリット（即時性・保存性・可視性・簡素化）を生かした授業改善の工夫

研究主題「自分の考えをもち、かかわり合う子の育成」

～コミュニケーション力を高めるためのICT機器の活用を通して～

授業公開×協議会

特別支援学級（自立活動）
「プラス思考でいこう」

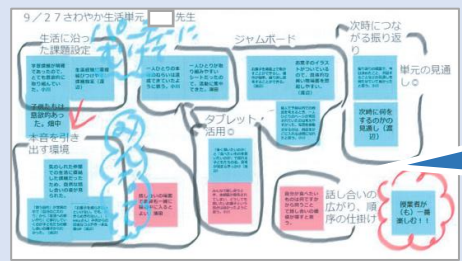


協議会
記録

7月14日（金）自立活動協議会

授業者より
・1学期は、よかった点についてプラス思考でいけるようにしたい
考えをつけて広めていくことで穏やかな自分になれるように願って
・本時はリフレーミングの2時間目で子どもにとっては捉えが難し
を変えたり、見方を変えたりすることでさらにハードルを高くして
じめる。
・今回で終わりではなく、状況を自分のこととして捉えてプラスで
はがんばっていたが、やはり難しかった。
・タブレットでjamボードを使ってみて、タイムリーに考えの共有が
組んでいる印象を受けた。会話を通して話すことで分かってくる見
えながら活用していきたい。
・授業を通しての子どもの姿や変容をぜひ参観の先生方から教えて

- 「短所の言葉」のリフレーミング活動
- 自分の考えを付箋に記入し貼り付け移動
 - 自分の考えの明確化
 - 全体共有
 - 学びの蓄積化



他、授業公開協議会

- 児童も教師も、授業での日常使いへ
- いつでも、学びの振り返り→活用へ
- 教師の学びにも活用へ

【取組内容④】 中学校区「Google classroom」を活用した小・中学校の協働的な教育活動の展開

**中学校区Google classroom**

(小学校1校・中学校1校)

- ・物理的に離れた校舎
- ・定期的な合同の打ち合わせ会
- ・一部職員間の共通理解



- 即時、情報共有
- 事前の資料確認、意見収集
- 打ち合わせ会の短縮化
- 共通した取組
- 資料の共有（デジタル化）
- 同学区全教職員への周知
 - 共通理解と共通認識
 - 一貫した教育活動・改善へ

例：中学校区学力向上部会

- 実践例共有のデジタル化による簡易さ、見える化の向上
 - 同学区教職員間の情報発信・周知・共通理解
 - 一貫した教育活動・学力向上への取組

リーディングDXスクール事業【実践事例】

加茂市立加茂南小学校（新潟県）

【取組内容⑤】市内小・中学校全教職員「Google classroom」を活用した情報発信の工夫



市内小・中学校全教職員Google classroom

- ・市内の全教職員がメンバー
- ・学校を越えた職員間の相互伝達
- ・情報の発信、周知、共通理解
- ・デジタル化（要項、指導案、出欠申込等）
- ・情報共有、共同編集

公開授業①（会場：加茂南小学校） 14：00～14：45 ・4年1組 算数科「面積」 授業者 ・6年1組 社会科「近代国家を目指して」 授業者	公開授業②（会場：若宮中学校） 13：55～14：45 ・1年1組 社会科「アフリカ様」 授業者
全体会（加茂南小学校 多目的ルーム） 15：00～15：10 （若宮中学校 みどりの部屋・リモート） 教育長挨拶 加茂市教育委員会教育長 様	
協議会 15：15～16：25 1 質疑 2 グループ協議 3 総括 小学校算数 4年1組 指導者 新潟大学附属長岡小学校 様 小学校社会 6年1組 指導者 新潟大学附属長岡小学校 様 中学校社会 1年1組 指導者 県立教育センター附属主事 様	

- ↓
- 市内全教職員への周知
 - クラウド上での申込入力、ワンペーパー要項
(申込、配付物、アンケート等の簡略化)
 - いつでも情報確認
 - 必要なデータの集約
 - 市の施設利用の状況確認

例：市内授業研究会でのクラウド活用

- 要項、実践例、指導案等のデジタル化（ペーパーレス化）
- 市内全小・中学校教職員間の情報発信・周知・共通理解の迅速化
- 情報の集約、アンケート調査のクラウド利用・集計
- クラウド化による業務の効率化